

学 位 論 文 の 要 旨

※ 整 理 番 号	第2017-1	ふりがな 氏 名	にしだ ひであき 西田 秀明
学位論文題目	天枢穴または合谷穴への鍼施術時における大腸運動の影響 —腸蠕動と自律神経機能を指標として—		
<p>【目的】 鍼灸診療では医学古典に記載されているように、消化器症状に対する治療が行われている。本研究では、鍼灸臨床で用いられている大腸の募穴である天枢穴（腹部経穴）または大腸経の原穴である合谷穴（上肢経穴）に鍼を施術した際に、大腸運動がどのように変化するかを調査した。</p> <p>【方法】 対象は本研究に同意を得た器質的な消化器疾患、循環器疾患のない18歳以上の男性とした。手順は10分間の安静仰臥位とし、10分後に大腸運動をみるために腸電図と腸音、心拍を鍼施術前後20分間、計40分間測定した。被験者は、鍼を施術する天枢穴施術群、合谷穴施術群、鍼施術を行わない施術なし群の3群のいずれかに振り分けた。鍼施術は左側のみ行い、置鍼15分間とした。鍼施術による大腸運動の変化と自律神経機能への影響を調査した。</p> <p>【結果】 左天枢施術群では腸電図の振幅、腸音、心拍は有意に減少した。左合谷施術群では、腸音は有意に増加し心拍は有意に減少したが、腸電図の振幅に顕著な変化はなかった。施術なし群では腸電図や腸音に変化はなかった。</p> <p>【考察/結語】 左天枢施術群は、脊髄反射により交感神経優位となって大腸運動が抑制されることが判り、大腸の募穴として大腸運動に関与することが考えられた。また、左合谷施術群は上脊髄性反射により副交感神経優位となって運動が促進され、左天枢施術群と異なった影響を及ぼし、大腸経の原穴として大腸運動に関与することが示唆された。</p>			

- 備考 1. ※印の欄は、記入しないこと。
2. 学位論文の要旨は、和文により研究の目的、方法、結果、考察、結論等の順に記載し、800字程度でタイプ等で印字のこと。
3. 図表は、挿入しないこと。